

2021 MANIFESTO

輝く、まち・ひと・未来。

NEXT 亀山 緑の八策

マニフェストレポート

2024.11.8

桜井義之

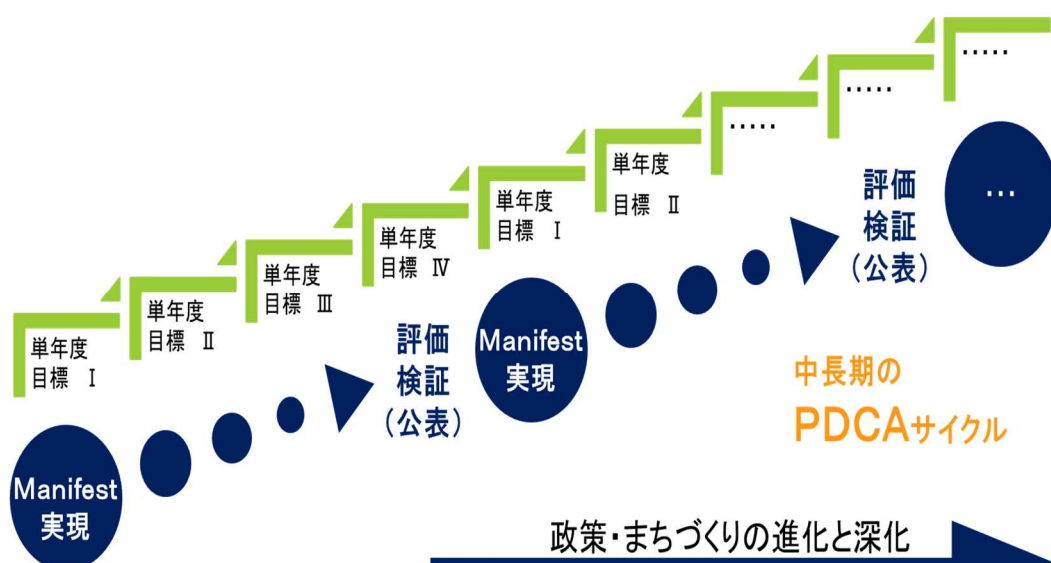
マニフェストのPDCA サイクルと総合計画との連動

2009年の初当選以来、4度のマニフェスト選挙により、「開かれた市政」と「持続可能な地域経営」への転換をめざしてきました。

マニフェストにおいて公約とした政策の達成状況と評価については、「マニフェストレポート」として取りまとめ、公表の上、次なるマニフェストへと反映することで、短期での目標の必達、中長期スパンでのPDCAサイクルの深化をはかってきました。

また、マニフェストに示した政策については、総合計画をはじめ予算・組織へと落とし込みを行うとともに、行政経営重点方針の予算編成前の提示、政策推進レビューによる実効性の向上など、行政経営の土台の段階的なバージョンアップに努めていきました。

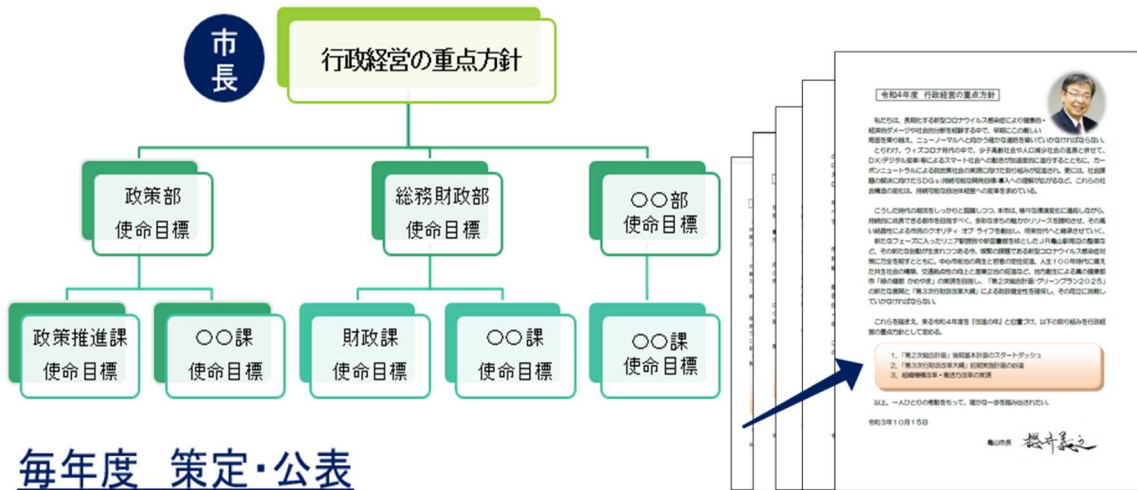
短期の目標の必達と中長期のPDCAサイクルの深化



マニフェストに示した施策の総合計画等への落とし込み



行政経営重点方針の提示と展開



毎年度 策定・公表
各部・各課のミッション設定・人事評価へ展開

政策推進フロー



第17回マニフェスト大賞
ローカル・マニフェスト大賞(首長の部)
最優秀賞 受賞

2021マニフェストの取組結果のまとめ

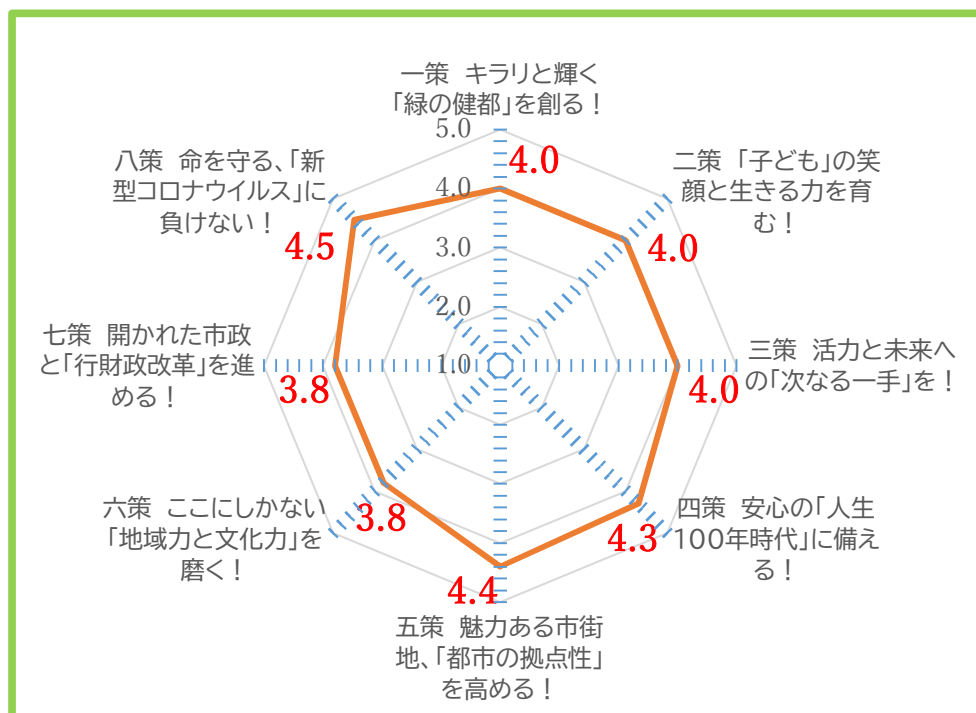
マニフェストの実現に向けた取り組みの考え方に基づき、2021 マニフェストに示した施策の取組結果（令和6年度分は、実績見込みを含みます。）を自己採点し、以下のとおり、「マニフェストレポート」としてお示しします。

■マニフェストの取組結果（緑の八策43の政策の取組結果）

取組結果		施策数	比率
5	マニフェストを完全に実現した	13	30.2%
4	マニフェストをほぼ実現した	21	48.9%
3	マニフェストを実現するため、事業を開始し、又は既存事業を拡大した	9	20.9%
2	マニフェストを実現するため、調査・検討を始めた	0	0.0%
1	未着手	0	0.0%
合計		43	100%

79.1%

【緑の八策別の取組結果（レーダーチャート）】



緑の八策43の政策について、各々の取組結果を点数化（平均点）したものです。

■マニフェストレポートの見方

<例>

緑の八策のいずれかを表しています。

一策 キラリと輝く「緑の健都」を創る!

マニフェストに掲げた
43の政策を表しています。

.....します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■ <p>マニフェスト実現のために 取り組んだ内容を示しています。</p>	●●●●

マニフェストに掲げた政策の取組結果を5段階で示しています。

- 5 マニフェストを完全に実現した
- 4 マニフェストをほぼ実現した
- 3 マニフェストを実現するため、事業を開始し、又は既存事業を拡大した
- 2 マニフェストを実現するため、調査・検討を始めた
- 1 未着手

取組に関連する主な事業費を示しています。
この事業費は、以下の合計額となっています。

- ① 令和3年度～令和5年度の決算額
- ② 令和6年度の予算額（9月補正予算含む）

一策 キラリと輝く「緑の健都」を創る!

まちの住みよさと暮らしの質は、環境・産業・健康・文化・教育・共生などの多岐にわたる要素によって決定します。亀山市は、これら多彩な要素がうまく結びつく高い結晶性によって、心地よい「クオリティ・オブ・ライフ」を実現します。とりわけ、健康を「ひと」と「ひとを取り巻く環境」の両面から捉えてその体質を改善し、健康的な暮らしと環境にやさしく地域社会の好循環へとつながる真の健康都市、キラリ輝く「緑の健都」を創ります。

健康都市大学の開設

「緑の健都」にふさわしい、市民の新しい学びと交流の場として、「健康都市大学」を開設します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	<p>■WHO(世界保健機関)が提唱する「健康都市」の理念に賛同する健康都市連合加盟都市として、健康都市政策の展開をはかり、さらに令和5年7月からは、健康都市連合日本支部長として、健康都市政策の進展に寄与するべく、加盟都市相互の交流と協働の支援に努めています。こうした中、健康を幅広くとらえ、都市全体での健康づくりを進める「健康都市」の観点から、令和5年3月に、それまでの「亀山市健康・医療推進計画」を改め、「亀山市健康まちづくり計画」を策定しました。また、令和5年10月には、「かめやま健康都市大学」を創設し、3つの選択コース(健康、食、運動)及び必須コース(健康都市)の4つのコースでの講座を延べ438名(第一期211名、第二期227名)の方に受講いただくことにより、市民の主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透をはかることができました。さらには、第一期修了生のうち、希望する64名の方に「健都サポーター」の登録をいただき、健康都市大学での学びと実践の成果を生かし、自身の健康への意識を高め、主体的な健康活動の実践を促進するとともに、地域での健康活動の拡大に向けた取組を進めることができました。</p>	1,188

「健都さぷりプロジェクト」の新展開

「健康づくり+10」「健康マイレージ」「亀山 QOL 支援事業」等に加え、食による「不老フード」運動など、「健都さぷりプロジェクト」の新展開をはかります。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■第2次総合計画期基本計画の重点プロジェクトに、健康都市政策を一層推進する「健都さぷり+」プロジェクトを位置付けるとともに、健康都市政策を推進する部署として、「健康政策課」を設置しました。また、健康マイレージ事業をリニューアルし、スマートフォンアプリを活用した「アプリdeウェルネス推進事業」へと進化させたことにより、令和6年10月末時点で、延べ1,400人を超える市民の方々に参加いただくなど、個人が自身の健康意識の向上や健康習慣の見直しに取り組み、市民の自主的な健康づくり活動を促進することができました。さらに、令和6年2月に亀山市・亀山商工会議所・全国健康保険協会三重支部の3者で、市内事業所で働く従業員の健康増進に向けた「亀山市健康経営普及促進に関する協定」を締結し、健康経営に取り組む市内事業者に対する支援制度を創設しました。このほか、明治安田生命相互会社(R3.9)、大塚製薬株式会社(R4.5)、中北薬品株式会社(R5.2)と健康を中心とした包括連携協定を締結し、様々な事業での連携を進めています。</p>	1,401

鈴鹿川源流域の環境の保全・文化の創造

鈴鹿山系の森林環境と生物多様性を保全し、魅力ある東海自然歩道や亀山7座トレイルを活かします。また、官民協働で市内の外来種の駆除をはかります。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
4	<p>■ 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会への支援を通じて自然環境等の保全活動を推進するとともに、森林環境創造事業により、環境林の整備を進めました。また、亀山7座を活用したトレッキングイベントを年間約10回開催し、本市の豊かな自然に触れていただく機会を創出しました。一方、令和5年6月には、身近な地域の生物多様性保全に取り組んでいる多様な主体の活動を評価し、支援する亀山版OECD認定制度「かめやま生物多様性共生区域認定制度」を創設し、現在、9区域を認定しています。さらに、「亀山里山公園(通称:みちくさ)」については、市民活動団体や周辺自治会等との生物多様性保全の活動を継続して実施したことで、これまでの取組が評価され、令和5年10月に、環境省より「自然共生サイト」の認定を受けることができました。</p>	8,815

全国をリード、埋め立てゴミの再処理と山元還元の継続

全国に先駆けて取り組んできた、「埋め立てゴミの再処理」と「溶融飛灰の非鉄金属の回収・再利用」を継続させます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
5	<p>■ ごみ処理に伴う環境負荷の軽減をはかるため、総合環境センターにおけるごみ溶融処理に伴い発生する溶融飛灰を山元還元方式により再資源化し、最終処分量ゼロを維持するとともに、最終終処分場に保管されている固化飛灰の搬出・処理を進めたほか、災害発生時の廃棄物処理に伴う大量発生が予測される固化飛灰の仮保管場所の確保にも努めました。</p>	20,020

持続可能なまちづくり「亀山版 SDGs」の確立

2030年を目標とする国際社会のSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、本市独自の持続可能なまちづくりを志向し、SDGs 未来都市を実現します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
3	■令和4年6月に策定した「第2次総合計画後期基本計画」において、各施策とSDGsの関連を整理し、32の基本施策ごとに関連するゴールを表示するなど、まちづくりの施策が目指す方向とSDGsとの関係性を明確にしながら、まちづくりを展開しています。また、毎年度、施策評価により、SDGsの推進への寄与状況について確認しています。このほか、SDGsのゴールとの関係を考えながら未来の亀山について話し合うワークショップを開催するなど、SDGsについて考える機会の創出をはかりました。	-

家族の絆と三世代交流の重視

健やかで幸せな暮らしには、個人の健康のみならず家族や地域のつながりが不可欠であり、家族の絆と世代を超えた交流を重視します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
3	■コロナ禍で地域内交流が停滞したことから、交流の回復に向けて地域予算制度を見直し、地域活性化支援事業加算を新たに追加するなど、地域まちづくり協議会への支援拡充を通じて、三世代の交流や地域におけるつながりの確保をはかっています。	-

二策 「子ども」の笑顔と生きる力を育む!

かつて女子師範学校が置かれ「教育のまち」と称された亀山。現代もなお、その精神が息づいています。まちが明るい未来に向かうためには、子どもの笑顔と子育て世帯を支える環境が大切です。近年の虐待・貧困など複雑化した課題への包括的支援の強化、学校・保育施設の計画的な改修などを進め、県内を先導してきた子育てにやさしい環境「亀山Quality」の充実と、子どもの「生きる力を育む」教育環境を深化させます。

亀山版ネウボラ、「子育て世代包括支援センター」の拡充

「亀山版ネウボラ」として、妊娠・出産・育児はもとより学童期・思春期までの切れ目のない相談・支援をめざし、「子育て世代包括支援センター」を核にかかりつけ医・保健師・学校などが連携する仕組みにより、母子保健と生育サイクルを強化します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	■子ども政策の円滑かつ効果的な推進のため、組織機構改革により、令和6年4月から新たに「子ども未来部」を設置するとともに、母子保健施策と子育て支援施策を一体的に実施するため、新たに「こども家庭センター」をスタートさせました。また、「子育て世代包括支援事業」において、妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援を行う伴走型相談支援と、出産応援給付金及び子育て応援給付金による経済的支援を実施するなど、安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備につなげました。	36,087

学校施設の計画的な改修とオンライン教育の充実

老朽化し更新時期を迎えつつある教育施設の改修、一部残った理科室などの特別教室への空調整備やトイレの洋式化、避難所となる体育館の電源・空調の整備などを計画的に進めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
3	<p>■ 亀山東小学校体育館屋根の全面改修など、施設の老朽度合に応じて、順次修繕等を実施するとともに、各学校施設の劣化状況を調査し、中長期にわたる保全管理型の学校施設環境整備等にかかる基本的な方針等を取りまとめた「亀山市学校施設等長寿命化計画」を策定しました。一方、市内の全小・中学校において、児童・生徒1人1台のタブレット端末の活用やセキュリティ環境の強化など、ICTを活用した学びの環境整備を進め、わかりやすい授業の実施や家庭での学習など、個別最適な子どもたちの学びの保証につなげることができました。</p>	49,397

認定こども園の整備、保育園・幼稚園の再編・改修

0-2歳の保育ニーズの高まりに応えるため、短期的には待機児童対策として保育室の改修・増築を急ぐとともに、中長期的な視点から就学前教育・保育施設の再編ならびに認定子ども園の整備を進めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■ 待機児童の解消を目指し、「就学前教育・保育施設の再編方針」に基づき、和田保育園において保育室を増設し、保育ニーズの高い低年齢児(0~2歳児)の受入規模を拡大しました。また、新たな社会状況、国の施策や就学前教育・保育のニーズの変化に対応した施設の再編を進めるため、再編方針の見直しを行い、令和6年度には、民間保育所・幼稚園の認定こども園化に対する財政的支援を通じて、保育ニーズの受入機能の確保をはかり、待機児童の解消に寄与しました。</p>	44,751

不登校児童生徒のサポートの強化

適応指導教室やオンライン教育の充実とともに、不登校児童生徒を支える団体への支援などにより、不登校児童生徒と家庭のサポートを強化します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	■誰も取り残さない学びの確保をはかるため、NPO法人との連携や各小・中学校の校内に「教育支援センター」の設置、図書館でのサークルルームの開設など、学校への行きづらさを感じる児童生徒の居場所の充実をはかるとともに、学びの保証や相談などを行う体制を整備しました。	4,901

きめ細やかな給食の実施

きめ細やかな小学校・中学校の給食に向け、現在進められている教育委員会の検討を踏まえ、その環境を整えます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	■亀山中学校及び中部中学校におけるデリバリー給食を継続するとともに、これら中学校2校における外部調理委託による食缶搬入方式での全員喫食制給食の令和8年度からの実施に向け、給食受け入れ環境の整備に着手しました。	19,900

三重国体を契機、ジュニア・スポーツの活性化

三重国体・東京オリパラを契機として、ジュニアスポーツの機運を促進させるとともに、スポーツ・文化芸術の分野で飛躍を志す青少年に対する応援制度を創設します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
3	■全国大会等のスポーツ大会への出場者に対する激励金の支給に加え、全国大会に出場する小・中学生延べ175名に全国大会出場旅費補助金を交付し、ジュニアスポーツの振興と保護者等の経済的負担の軽減をはかりました。また、名阪工業団地第三公園を活用し、東京五輪で正式種目となったスケートボード等のアーバンスポーツができる環境を整備したほか、令和6年度開催の「かめやま文化年2024」を通じて、子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会を確保しました。	1,586

三策 活力と未来への「次なる一手」を!

中部・近畿両圏の結節点に位置する優位性を強みに、この10年で12社の企業立地を実現。まさに今、先の新名神高速道路の開通をはじめ将来のリニア構想・鈴鹿亀山道路IC設置など、亀山市のポテンシャルはさらに高まっています。未来を見すえ、リニア中央新幹線による広域交流拠点を確実にするとともに、この好機を逃すことなく多様な産業構造・雇用を創出。次なる活力と未来の飛躍につなげます。

新たな産業団地と工業用水の確保

亀山・関テクノヒルズ等への企業誘致を進めるとともに、次なる活力の受け皿となる新たな産業団地と工業用水を確保します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	■産業振興奨励制度を活用し、亀山・関テクノヒルズへの企業誘致を進めたことにより、令和元年度以降に車載部品製造や金属等加工、設備製造、ガス製造、寝具等リース、食料品、物流など、多様な業態の企業12社が操業を開始されており、多様な産業の集積がはかられたほか、企業立地の促進により、将来の設備投資及び新規雇用の創出につなげることができました。また、新たな産業団地の開発については、工業用水の安定供給も含め、関係企業や関係部署と検討を行っています。	25,635

三重の玄関口、「リニア庭園都市構想」の推進

未来を見すえ、リニア中央新幹線の開通を視野に入れた、「うましくに三重」の玄関口にふさわしい「リニア・ガーデンシティ（庭園都市）構想」を進めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■官民一体となってリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致活動を進めるとともに、「リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査」の実施や、県が策定する「みえリニア戦略プラン(仮称)」の策定作業に参画し検討を進めています。一方、令和4年11月に、「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」において、リニア中央新幹線の県内駅候補地を亀山市内とすることが決議され、現在、JR東海において、環境影響評価への着手となる、概略ルート of 絞り込みや概略駅位置選定の検討を開始するためのボーリング調査が市内でも行われ、名古屋・大阪間の取り組みも着実に進められています。また、リニア駅周辺の整備に向けた財源確保をはかるため、計画的に「リニア中央新幹線亀山駅整備基金」の積立てを行っています。</p>	20,781

鈴鹿道路と R306 川崎バイパス等の整備促進

鈴鹿亀山道路のIC設置、R1 関バイパス・R306 川崎バイパスなどの幹線道路の整備促進に向け、引き続き国・県へ働きかけます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	<p>■鈴鹿亀山道路については、住民参加による計画づくりや、官民が連携した要望活動等、様々な取り組みを行ったことにより、令和4年4月に新規事業化が決定しました。また、鈴鹿亀山道路と当該路線と関連する国道306号川崎庄内バイパスの早期整備に向け、三重県等と連携し国等へ継続した要望を行うとともに、整備促進に向け県へ本市職員を派遣するなどの取組を行うことで、設計や用地測量等の業務が円滑に実施されています。さらには、国道1号関バイパス等の道路ネットワーク整備についても、国等へ早期着手に向けた要望を行いました。</p>	130

新しい観光スタイル、物産・サービスの創出

キャンプや農村民泊などのグリーン・ツーリズム、トレイルラン・自転車などアウトドアの新しい観光スタイル、魅力ある物産・サービスを創出します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
4	■ 亀山7座トレイルをはじめ、本市が有する豊かな自然資源を生かした観光政策を推進するとともに、石水溪キャンプ場において、冬場のキャンプニーズに対応するため、1年間を通して利用可能となるよう環境を整えました。また、新たな誘客を目指し、国の地域活性化企業人制度を活用し、本市独自のグリーンツーリズムの検討を進めています。一方、令和3年度に開始した亀山ブランドについては、38品目をブランド認定し、物産展等に参加するなど、市内外に情報発信を行い、生産者の生産意欲や販売意欲の向上につなげました。	1,998

おいしい農業・稼げる農業の支援

農業ブランド化プロジェクトを立ち上げ、「楽しい・おいしい・稼げる農業」を展開します。骨ある若者・今時の農業女子など、こだわりある新規就農者を支援します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
3	■ 亀山の特産品であるお茶のほか、豚肉を亀山ブランドとして認定し、その魅力を全国に発信しました。また、持続可能かつ高付加価値な農業を行う経営体を亀山サステナブルファーマーとして5事業者を認定し、奨励金を交付することで、持続的に稼げる農業の展開を促進するとともに、事業者の経営意欲の喚起と経営安定化につなげました。	1,822

戦略的なシティプロモーションの展開

「暮らしたい・訪れたい」選ばれるまちへの取り組みとして、首都圏在住の本市に縁ある移住交流アドバイザーとの連携等により、より戦略的で魅力的なシティプロモーションを展開します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
4	■ホームページやSNSを活用し、市民の声や暮らしの様子など、共感性の高い情報発信を行うとともに、移住・交流促進アドバイザーと連携し、様々な機会を捉えて首都圏等の都市部在住者をターゲットとした移住関連情報の発信や移住フェアへの積極的な参加を行いました。また、閑宿の空き家を活用した移住・交流ワークショップ(DOMA プロジェクト)の開催等を行うことで、関係人口の確保にもつなげました。	3,182

四策 安心の「人生100年時代」に備える!

生涯にわたり、誰もが住み慣れた地域で健やかに暮らしたいと願っています。シニア世代の介護予防・フレイル対策・就業支援を充実させる一方、高齢者・障がい者のみならず8050問題にみる引きこもりなど、近年の複雑化・複合化した課題を抱える世帯に対して、オーダーメイドの福祉「亀山版・重層的支援体制」を確立します。地域福祉に携わる皆さんと共に「ひとりぼっちをつくらない」を合言葉に、安心の共生社会を構築します。

オーダーメイドの福祉「亀山版・重層的支援体制」の確立

県内をリードする多機関協働による包括的支援体制を、次なるステージへ。総合相談窓口や専任コーディネーターの設置により、支援を求める方の暮らしにあうよう、オーダーメイド型の「重層的支援体制」を確立します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	■全庁的に展開しているつながるシートを活用した仕組みと、相談支援包括化推進員(市)とCSW(社会福祉協議会)を中心とした支援体制の構築により、重層的な支援体制を確立し、複雑化・複合化する地域の福祉課題に対応することができました。	8,417

民生・児童委員の見守り活動とCSWとの連携強化

民生・児童委員、福祉委員による見守り活動・声かけ活動を支援しCSWとの連携強化をはかるとともに、「ふれあい・いきいきサロン」の新設を支援します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	■市の相談支援包括化推進員とCSWを中心に多機関協働による包括的な支援体制を構築し、福祉課題の解決をはかるとともに、仲間づくり、生きがいくくり、ひきこもり防止等に向けたサロン活動を支援しています。なお、令和6年度においては、88団体が「ふれあい・いきいきサロン」を運営しています。	1,281

高齢者の在宅医療・介護予防・フレイル対策の充実

高齢者の在宅医療・介護・生活支援などの地域包括ケアを充実させるとともに、フレイル(虚弱)対策として、老人クラブ活動・就労などの生きがいづくりを支援します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> 医療、介護等の多職種連携により在宅医療連携や認知症患者等への支援、高齢者が気軽に参加できる活動の場づくりを進めるとともに、令和5年度から保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、医療専門職が、健康課題を抱える方への訪問指導等の個別支援(ハイリスクアプローチ)や健康教育・健康相談(ポピュレーションアプローチ)等に取り組むことにより、疾病の重症化やフレイル予防等、高齢者の健康増進につなげました。 	29,597

障がい者の自立支援の促進

障がい者の就労の場の確保、成年後見制度の確立をはかるとともに、専門機関と連携した障がい児の療育の実施や医療的ケア児に対する広域支援を進めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者が自立して生活できるよう重層的な相談支援体制を構築し、就労機会の確保をはかるとともに、権利擁護にかかる中核機関を設置しました。また、新たに2名の「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」を育成し、保育所等への指導・助言を充実させるとともに、医療法人社団主体会小山田記念温泉病院との協定(略称KUKS)等により、発達等に配慮が必要な児童への支援を向上させました。さらには、医療的ケアを必要とする障がい児等への支援として、適切な相談対応及び福祉サービスの提供を行いました。 	12,595

犯罪被害者等支援条例などの創設

犯罪被害者等支援条例、はいかい高齢者賠償責任保険制度、自転車損害賠償責任保険支援制度の「セーフティネット・3点セット」を創設し、万が一に備えます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■犯罪被害者等支援を総合的かつ計画的に推進することで、犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減並びに犯罪被害者等の生活の再建に資するとともに、犯罪被害者等を支える社会の形成を促進するため、令和3年7月に「亀山市犯罪被害者等支援条例」を施行するとともに、同年9月には「認知症等高齢者個人賠償責任保険事業」をスタートさせました。また、同年10月には、自転車損害賠償責任保険等への加入が県条例により義務付けられたことから、同保険の加入促進に向け、啓発活動に取り組んでいます。</p>	202

防犯対策の強化による体感治安の向上へ

自治会等における防犯カメラ設置にかかる支援、特殊詐欺など被害の未然防止にむけた亀山警察・鈴鹿亀山消費生活センター・金融機関・コンビニ等との連携を強化します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■令和6年度から、自治会等による防犯カメラの設置を支援する「地域防犯カメラ設置支援事業」を開始し、地域の防犯環境の向上につなげたほか、特殊詐欺等の未然防止に向け、亀山警察や鈴鹿亀山消費生活センター等との連携を強化し、注意喚起等の啓発活動を展開しています。</p>	3,158

五策 魅力ある市街地、「都市の拠点性」を高める!

人口減少・少子高齢社会の進展により、まちの中心部における都市機能の再構築と人口誘導による市街地の再生が急務です。新しい図書館を核とする亀山駅前地区の再開発をきっかけに、にぎわいと魅力の創出・若者のまちなか居住へとつなげ、都市の拠点性を高めます。また、中心部と各地域とのネットワークである地域公共交通「コミュニティバス・乗りあいタクシー」に、新たに定期券やAI予約システムを導入し、市民の皆さんの利便性を高めます。

JR 亀山駅前地区の市街地再開発の推進

まちの玄関口である JR 亀山駅周辺のにぎわいと魅力を再生し、市の中心的な都市拠点としての求心力を高めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	<p>■平成18年度より地域住民等と検討を進めてきました中心的都市拠点であるJR亀山駅周辺の再生について、平成30年度に設立した「亀山駅周辺2ブロック地区市街地再開発組合」が施行する市街地再開発事業に対し継続に支援を行ったことで、公益施設である図書館、住居(56戸)、商業施設で構成する複合建築物「キットテラス亀山」の整備に加え、市の玄関口である亀山駅前広場の再生、駅と既成市街地をつなぐアクセス道路となる都市計画道路亀山駅前線の整備が一体的に実施され、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性が向上しました。なお、事業の実施に当たっては、再開発ビルの整備に加え道路等の公共施設整備を一体的に市街地再開発事業で実施することで、国の交付金や補助金を効果的に活用するなど、市の財政負担額の軽減をはかりました。</p>	<p>298,508</p> <p>【参考】 上記のうち 一般財源額 35,130</p>

新図書館の令和5年開館

学びの場からつながる場へをコンセプトに、現図書館を市内全域からも訪れやすい亀山駅前に移転・整備し、市民の「知る・学ぶ・楽しむ」新拠点をつくりま

す。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	<p>■ 亀山駅周辺整備と合わせて、新図書館を令和5年1月に開館し、市民の学びと交流を通したまちづくりの新たな拠点整備を進めました。これらの整備により、多く人が行き交う亀山駅前へ図書館を移転したことで、開館後570日で、50万人に来館いただき、大変好評を得ています。なお、事業の実施に当たっては、亀山市立地適正化計画と整合をはかり、市街地再開発により整備された再開発ビルへの移転を進め、国の補助金の活用などにより、市の財政負担の軽減をはかりました。</p>	<p>178,861</p> <p>【参考】 上記のうち 一般財源額 24,314</p>

地域公共交通「バス・乗りあいタクシー」の利便性向上

コミュニティバスを利用の学生・高齢者に安価な定期券、デマンド・タクシー「のりかめさん」に AI 予約システム等を導入し、さらなる利便性に努めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■ 身近な地域公共交通としてコミュニティ系バス等の継続運行を行うとともに、関係機関と連携しながら、公共交通ネットワークの強化及び利便性向上に取り組みました。また、令和3年度に市内コミュニティバスの運賃を見直し、学生及び65歳以上の高齢者向けの安価な定期券を導入しました。一方、乗合タクシー「のりかめさん」については、コロナ禍を経ても、利用者数は増加傾向にあり、停留所の変更や地域懇談会の開催、制度周知に向けた出前講座の実施など、利用促進につながる取り組みを進めました。</p>	55,923

空き家・空き地の解消とまちなか居住への誘導

市独自に認定する「管理不全状態の空き家」への改善措置を強化します。市内外から居住誘導区域へ、若者等の居住・転入を促進させます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	■管理不全状態の空き家等に対し、適切な措置を講じ、管理不全状態の空き家の減少につなげたほか、住宅取得支援事業補助金や空き家リフォーム支援事業補助金の交付、空き家情報バンク制度の周知等により、居住誘導区域内での居住を促進し、既成市街地の活性化や子育て世帯の定住促進、市街地の空洞化の防止をはかりました。	2,516

防災・減災、強靱化対策の推進

自主防災組織の育成・住宅の耐震化の促進などを支援するとともに、流域治水・土砂災害対策など、地域の強靱化を進めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	■地域における防災・減災の取組を促進するため、自主防災組織の結成・活動を支援するとともに、木造住宅の耐震化や除却、雨水排水機能の向上、ため池の耐震化等により、自然災害等に対する地域の強じん化をはかりました。また、令和4年度より河川や雨水排水等を一体的に管理・整備する部署を新設し、流域治水の取組を強化しました。特に、木造住宅の耐震化については、補強計画、補強工事及び除却工事に対する補助制度の運用・充実により、住宅の安全性確保を進め、令和5年度末時点においても、木造住宅の耐震化率は、92%と高い状況となっています。	24,383

六策 ここにしかない「地域力と文化力」を磨く!

新市施行から15年。様々な分野で市民活動や地域活動が活発化し、市民力で地域力が輝くまちづくりが進んでいます。若手を含む担い手の発掘・育成の連携、地域予算制度などのバージョンアップによって、個性ある地域力を応援します。一方、芸術文化・街道文化など「文化の見える化」をめざした「かめやま文化年&歴史的風致維持向上計画」を新たな展開につなげ、全国ここにしかないオンリーワンの「地域力と文化力」を磨きます。

コミュニティセンターの改修、加太駅舎の再生・活用

合併時に創設した「市民まちづくり基金」「関宿にぎわいづくり基金」の財源運用を見直し、地域の拠点となるコミュニティセンターの改修や加太駅舎の再生等に活用、地域活動の支援を強化します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
5	■「市民まちづくり基金」「関宿にぎわいづくり基金」のハード事業への財源充当ができるよう見直しを行うとともに、「市民まちづくり基金」を活用し、城東地区コミュニティの活動拠点となる新たなコミュニティセンターを整備しました。一方、JR西日本から無償譲渡を受けたJR加太駅舎を改修し、鉄道の利便性向上をはじめ、地域活性化拠点や交流の場の創出につなげました。	24,259

地域における「ちょこボラ」の体制づくりなどの支援

ちょっとした困りごとに対応する「ちょこっと・ボランティア」の体制づくりやサロン活動を支援し、住民同士の助けあい・支えあいの風土としくみを確立します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
3	■地域での助け合い・支えあいを促進するため、地域まちづくり協議会に対し、継続的にちょこボラの取組を働きかけるとともに、地域予算制度の見直しを行い、ちょこボラを運営している地域まちづくり協議会に対する財政的支援を行っています。	230

「かめやま文化年」の継続と現代版・九々五集の編さん

本市の文化振興にかかる基本条例の制定、3年毎に開催する「かめやま文化年」の継続・発展とともに、「現代版・九々五集」の編さんに取り組みます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■令和3年に「亀山市文化芸術基本条例」を制定するとともに、令和6年度に「かめやま文化年2024」を開催しています。「かめやま文化年2024」では、「まちがにぎわい こどもがわらう」をキャッチコピーに、コロナ禍で減少した、子どもたちが文化芸術活動に参加する機会の充実や、まちの賑わい・魅力の創出につなげるためのイベント・小中学生向けの講座の開催をはじめ、関宿重要伝統的建造物群保存地区選定40周年記念シンポジウム等の関連イベントの実施に取り組んでいます。また、平成から令和において目まぐるしく変化する亀山市の移り変わりを今に暮らす市民や次世代の市民への継承していくため、「まちの記録」の編さん作業を進めています。</p>	3,596

「歴史的風致維持向上計画」の第2幕、絵になるまちへ

城下町・宿場町の風致や文化財を活かした歴史まちづくりをさらに進めるとともに、巡見道・安楽越えや金王道の古道、坂本棚田や鈴鹿峠などの自然景観を活かした、絵になるまちをめざします。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■令和3年に「亀山市歴史的風致維持向上計画【第2期】」を策定し、本市の歴史的風致の基軸である東海道を中心とした街道の環境整備として、関宿内の東海道の舗装美装化や小公園の整備、文化財等説明看板の設置等に取り組むとともに、歴史的まちなみ等、地域の特色を生かした景観形成を促進しました。</p>	25,030



個性ある農村集落の活性化・魅力化

元気で個性的な農村集落に向け、二拠点生活や移住の促進、女性による地域再生・食プロジェクトやコミュニティビジネスなどを支援します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
3	■ 中山間地域における農業生産活動を支援するとともに、移住・交流促進アドバイザーと連携した都市部から地方への移住・二拠点居住の促進に取り組みました。	205

七策 開かれた市政と「行財政改革」を進める!

就任以来、希望と信頼の「開かれた市政」を基本理念に、市民の皆さんとの情報共有・参画協働を進めてきました。あのリーマンショック以降の社会経済情勢の激変を、皆さんの協力と「持続可能な地域経営への転換・行財政改革の断行」により、乗り越えることができました。今後の国と地方財政の厳しさが指摘される今日、引き続き、強い意志をもって「行財政改革」に取り組めます。

DX(デジタル変革)による行財政改革

終わりのなき行財政改革を進めるとともに、デジタル技術の導入(DX/デジタルトランスフォーメーション)によって、さらに開かれた市政と行政サービスの向上につなげます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
3	■急速に進展するデジタル技術を積極的に活用し、スマート自治体への転換をはかり、一人ひとりのニーズに合った「利用者中心の行政サービス」につなげるため、「亀山市行政DX推進計画」を策定し、第3次行財政改革大綱の着実な推進と合わせて、マイナンバーカードを活用したオンライン手続きの拡充や「書かない窓口」の導入等による行政サービスのDXのほか、デジタル技術を活用したテレワークの推進や統合型内部情報システムの更新に合わせた電子手続きの拡充等による行政経営のDXも着実に進めるなど、デジタル技術を活用した市民サービスの向上や業務の効率化に取り組みました。	77,079

市役所が「働き方改革/ワーク・ライフ・バランス」を率先垂範

ゆとり社会に向け、地域経済界・労働界との連携協力を進めるとともに、「働き方改革/ワーク・ライフ・バランス」の実現へ、市役所が率先して推進します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
3	<p>■ 亀山市雇用対策協議会、商工会議所等と連携し、雇用の維持と確保をはかるとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、男女が性別に関わらず個性や能力を発揮でき、すべての人がともに働きやすい職場環境づくりに取り組む市内企業等を表彰しました。また、市内の労働団体、関係行政機関等による「亀山市働く環境づくり懇談会」を毎年開催し、労働環境改善に向けた意見交換の場を確保しました。さらには、市役所では、働き方改革を率先して推進するため、有給休暇の取得拡大など、労働時間短縮や男性職員の育児休業の取得促進に取り組みました。</p>	1,894

市の重点政策推進のためのタスクフォースの新設

市の総合計画に掲げる重点政策の実現のため、使命を持った機動チーム(タスクフォース)を新設し、確実な成果へとつなげます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	<p>■ 行政DXへの対応をはじめ、リニア中央新幹線の整備促進や健康都市政策の推進、子育て支援体制の強化・充実、ダイバーシティなど、市の重点施策を推進し、行政課題を速やかに解決するための組織改革を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症対策においては、「亀山市新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクトチーム」を設置し、迅速かつ的確な対応に努めたほか、第2次総合計画後期基本計画に示した重点プロジェクトを推進するためのプロジェクトチームの設置や、公共用地の利活用に向けた公共施設跡地等活用検討委員会の設置等により、組織の機動力向上をはかりました。</p>	—

新庁舎整備に向けた着実な取り組みへ

将来を見すえた、次代にふさわしい新庁舎整備の基本計画を立案し、段階的な取り組みにより具現化をはかります。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
4	■新庁舎整備の基本方針を取りまとめ、「亀山市新庁舎整備基本計画」を策定するとともに、基本計画で示した5箇所の建設候補地について比較検討を行い、「亀山駅周辺」を新庁舎の建設予定地(エリア)として選定しました。	907

マイナンバーカードの取得率の向上

現在20数%である本市のマイナンバーカードの取得率をアップさせ、市民の利便性の向上と公平公正な社会の実現をめざします。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	■令和5年度における証明書等の年間発行部数のうち、約4分の1を占めるコンビニ交付サービスなど、マイナンバーカードを活用した市民の利便性向上に取り組むとともに、市内公共施設やショッピングセンターでの出張受付や個別訪問による申請受付など、取得にかかる申請・交付機会の拡大に取り組んだ結果、令和6年10月末時点のマイナンバーカード交付率は、83.72%まで向上しました。	10,114

八策 命を守る、「新型コロナウイルス」に負けない!

世界的なパンデミックとなった「新型コロナウイルス」との闘いは、未だ先が見えません。本市は一連の総合対策「緊急政策パッケージ」により、独自のキメ細かな寄り添いと県内最速のスピード感をもった諸対策を進めてきました。この先においても、市内外の感染状況、専門的知見や国・県の動向を的確に見定め、「オール市役所」の総力をあげて必要な対策を講じます。

医療センターの「PCR 検査・発熱外来」の継続・拡充

医療センターとして、地域医療の核としての機能と経営健全化の両立を進めるとともに、県内最速で設置した「PCR 検査・発熱外来」の継続・拡充により、市民の命と健康を守ります。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■地域医療を担う公立病院として救急体制の維持及び地域包括ケアシステムの確立に寄与するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大時においては、発熱外来やPCR検査等の診療・検査体制の強化をはじめ、初期感染者の重症化対策として県内医療機関の外来では初となる「抗体カクテル療法」の導入など、感染症対策に積極的に取り組みました。また、滋賀医科大学との共同研究を通じて常勤医師2名を確保し、地域医療提供体制の充実につなげました。 	8,300

全市民へのワクチンの集団接種(無料)の実施

令和3年以降、新型コロナウイルス・ワクチンの実用化を受け、全市民ならびに医療従事者等へのワクチンの接種を、関係機関の協力を得て円滑に進めます。

取組結果	取組内容	主な関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルスワクチン接種室を設置し、亀山医師会等の関係機関との連携しながら、ワクチン接種体制を確保し、全市民及び医療従事者へのワクチン接種を円滑に進めることができました。 	66,555

「免疫力アップ大作戦」の展開

コロナ禍にあって、免疫力を落とさない生活習慣を育む視点から、健康体操や口腔ケアなど「WHO 健康都市/免疫力アップ大作戦」を展開します。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
4	■コロナ禍における健康への意識の高まりを捉え、免疫力の大切さなどの周知をはかるリーフレットの作製など免疫力アップ大作戦を実施や、農研機構の実施する機能性弁当実証実験事業との連携を通じて、市民一人ひとりの健康意識の啓発につながる取り組みを進めることができました。	922

コロナ終息後の「ニューノーマル(新常態)」の構築

効率・拡大を重視する価値観から、長期の持続性を重視する価値観への転換へ。アフターコロナを見ずえ、亀山スタイルの新常態の構築をめざします。

取組結果	取組内容	主な関連事業費(万円)
4	■後期基本計画の策定に際し、基本構想を変更し、まちづくりを展開する上で重視する新たな視点の1つとして、ポストコロナ時代の「ニューノーマルへの対応」を位置付けるとともに、コロナ禍等による急激な環境変化の中においても、本市が将来都市像の実現に向けたまちづくりを一層推進していくため、後期基本計画に4つの重点プロジェクトを位置付け、取り組みを着実に進めています。	—

4年間の行財政運営について

令和3年度から令和6年度の行財政運営では、マニフェストに掲げた政策推進と財政健全化の両立に取り組みました。また、長期化した新型コロナウイルス感染症への総合対策やエネルギー価格・物価高騰への対策など、市民生活・地域経済への支援等を積極的に進めるとともに、第3次行財政改革大綱（実施計画）に掲げた取組項目を着実に推進しました。

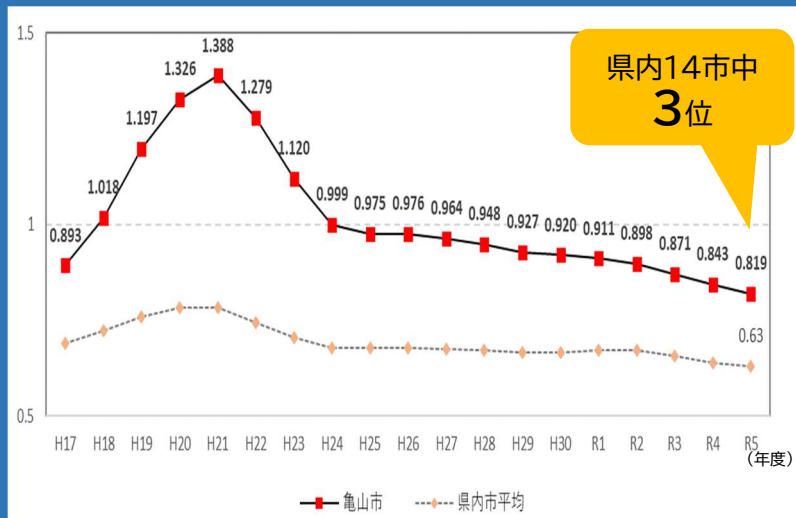
これらの取り組みにより、令和5年度決算時点における市の財政指標は、財政力指数や経常収支比率、実質公債費比率が県内市の中でも上位で、すべての会計を合算して算出する連結実質赤字比率などの健全化判断比率も、国が定める基準を下回っています。

財政指標

財政力指数

0.819

地方公共団体の財政力を示すもので、一般財源必要額に対し、市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを表しています。「1」に近いほど財源に余裕があり、「1」を超えると、普通交付税の不交付団体になり、標準的な水準以上の行政を行うことができます。

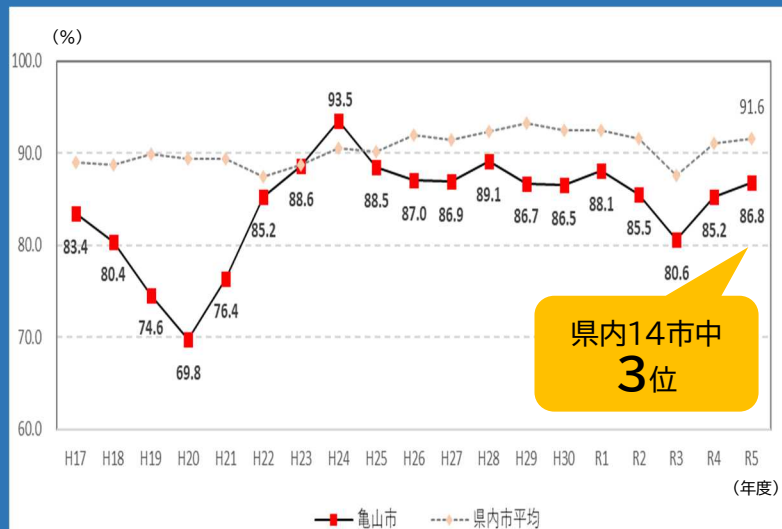


※3箇年平均の数値

経常収支比率

86.8%

経常的に収入された一般財源の経常的経費への充当割合を表しています。財政構造の弾力性を示す指標で、比率が低いほど弾力性が大きく、一般的には75%程度が妥当と考えられ、80%を超えると弾力性を失いつつあると言われています。



実質公債費比率

3.0%

地方公共団体の借入金(地方債)返済額の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合として表したもので、公債費による財政負担の度合いを判断する指標です。

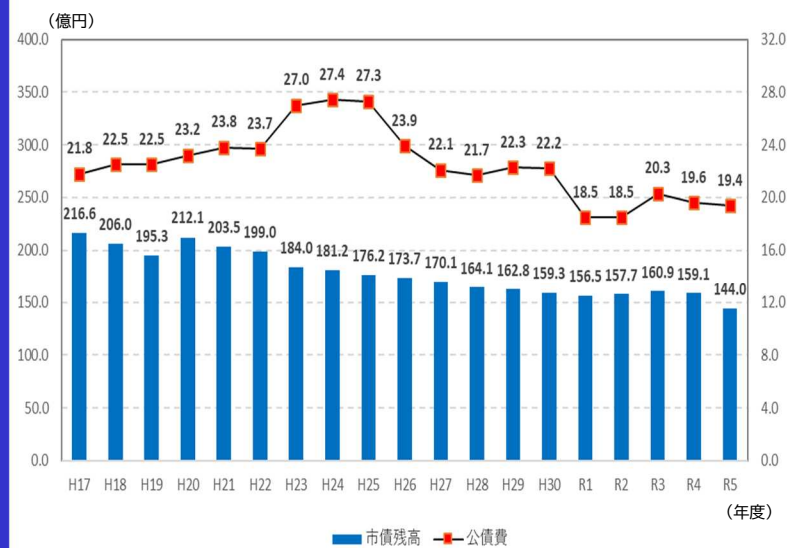


※3箇年平均の数値

市債及び基金の残高

市債残高(一般会計) 市債残高が平成17年度から約72億円減少!

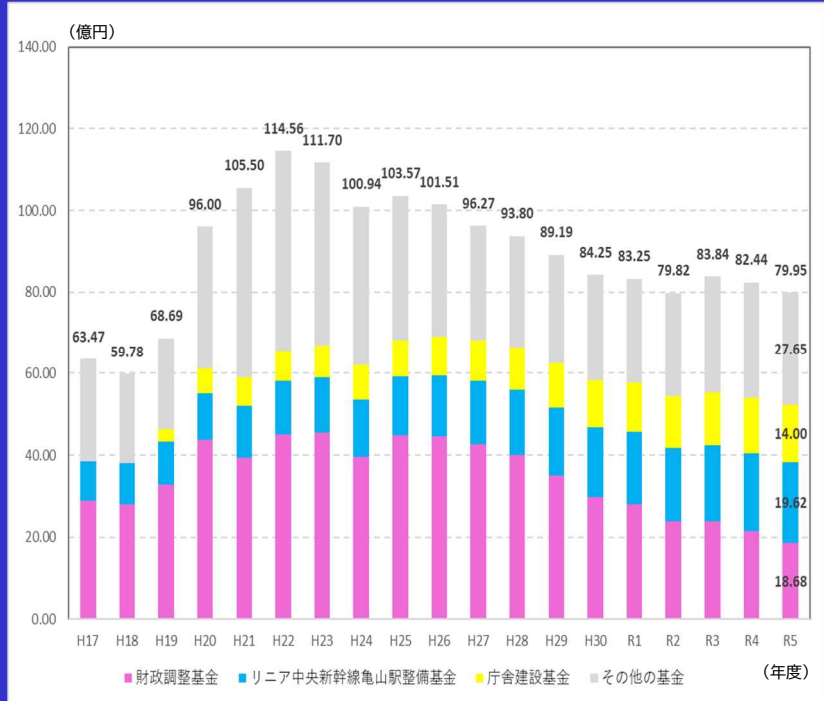
市債は、公共施設の建設など、一時的に多くの経費が必要な場合の借金で、その残高は、令和5年度末時点で約144億円となっています。将来の財政負担を考慮し、元利償還に交付税算入があるものなど、有利な市債を優先的に借り入れています。



基金残高

約 **80** 億円

基金残高は、令和5年度末時点で、約80億円となっています。これまで市民まちづくり基金や森林環境整備基金等の有効活用をはかるとともに、リニア中央新幹線整備基金や庁舎整備基金の計画的な積立を行っています。



新型コロナウイルス感染症総合対策及びエネルギー価格・物価高騰対策

令和3～5年度で実施した対策費
総事業費:約35.1億円
 ※市民生活、地域経済の支援及び感染症対策等

今後の財政運営

不安定な国際情勢や社会経済状況の影響等によるエネルギー価格・物価の高騰や急激な人件費の上昇等の局面の変化が、市の財政運営に大きな影響を及ぼしてきています。そこで、こうした環境変化に即応し、将来を見据えた持続可能な財政運営をはかるため、令和6年5月に「財政構造改革骨太方針2024」を策定しました。

現在、この骨太方針に基づき、抜本的な財政構造の立て直しを進行中であり、引き続き、市財政の早期回復に向け、積極的に取り組みを進めていく必要があります。

2021 MANIFESTO

すべては未来のために